

世界史 A

教科	地理歴史	単位数	2	学科・学年	工業科 2 年生
使用教科書	「明解世界史 A」(帝国書院)		副教材等	「プロムナード世界史」(浜島書店)	

◇ 学習の到達目標 ◇

世界の歴史を我が国の歴史と関連付けながら理解し、人類の課題を多角的に考察します。人類の経験を学ぶことで、論理的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。また、現在我々が抱える諸問題についてそのルーツを様々な観点から追究します。

◇ 科目の特色 ◇

「世界史 A」は古代史からの通史を学びますが、「現代社会」で学んだ知識を生かして近現代史をより詳しく学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	1-1. 前近代の諸文明	・ 人類としてのルーツを知るとともに、各地域の文明がどのような過程を経て成立したかを学習する。 ・ 現在の史跡、遺物、遺跡が、諸文明とどのように関係するのかを探求する。 【前期中間考査】
7 9	1-2. 一体化に向かう世界 1-3. 欧米の工業化とアジア諸国の動揺	・ 個々のエリアがつながりを持つ過程を理解し、その結果、発生した事態を考察する。 ・ 産業革命により生じた歴史的变化を探究する。 【前期期末考査】
10 12	2-1. 現代社会の芽生えと世界大戦	・ 植民地の拡大とともに、帝国主義の時代について理解し、二度の世界大戦へ行きつく過程とその原因を考察する。 【後期中間考査】
1 3	2-2. 冷戦から地球社会へ	・ 「現代社会」で学んだことを確認し活かしつつ、現在、国際社会が抱える諸問題を考察し、その原因と歴史的な流れを理解する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	人類のルーツとその発展過程に関心を持ち、現代の国際社会が抱える諸課題の原因と歴史的過程を意欲的に追究し、考察する態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	データや史資料を分析し読みこなし、歴史的な過程の中から論理的に考察して、適切に表現できるか。
資料活用の技能	提示したデータを的確に読み取り、分かりやすく表現することができるか。さまざまな資料を活用し、的確に考察できるか。
知識・理解	歴史的事象について、政治、経済、文化、国際関係など多角的な視点から理解し、その知識を身に付けているか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ① 定期考査 ② 授業で活用するプリント、ノートなどの提出物の内容
- ③ 長期休業に提示される主題学習(課題追究学習)のレポートや課題
- ④ 発表(プレゼンテーション、ディベートなど)の仕方や内容
- ⑤ 学習活動の参加状況(授業中の態度・発言内容、作業への取り組みなど)

また 1 年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

歴史は「過去」⇒「現在」⇒「未来」を論理的に結び付ける作業です。単なる暗記科目と考えるのではなく、様々な事象とその歴史的知識を得るとともに、論理的に考える力を手に入れよう。